

第 34 回北海道秋季馬術大会実施要項

- 1 主 催 北海道乗馬連盟
- 2 主 管 北海道大学馬術部
- 3 期 日 令和 2 年 9 月 18 日（金）～ 令和 2 年 9 月 20 日（日）
- 4 審判長 松下敏昭 コースデザイナー 加藤結 ACD 宮永美寿津
- 5 会 場 ノーザンホースパーク 苫小牧市美沢 1 1 4 - 7
- 6 日程及び競技種目

第 1 日 9 月 18 日（金） 12:00～16:30

フレンドシップ競技（80cm 以下クラス・100cm 以下クラス・110cm 以上クラス）

第 2 日 9 月 19 日（土）

区分	競技種目		実施要項
障害 馬術 競技	1	標準小障害 A	H100cm 以内 W120cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	2	少年小障害 A	H100cm 以内 W120cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	3	中障害 D S&H	H110cm 以内 W130cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 C263 条
	4	少年中障害 D S&H	H110cm 以内 W130cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 C263 条
	5	中障害 C S&H	H115cm 以内 W140cm 以内 12～15 障害 FEI 基準 C263 条
	6	中障害 B S&H	H125cm 以内 W150cm 以内 12～15 障害 FEI 基準 C263 条
	7	ダーレージャパンカップ	H100cm 以内 W120cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	8	標準小障害 B part1	H90cm 以内 W110cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	9	少年小障害 B part1	H90cm 以内 W110cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	10	標準小障害 C part1	H80cm 以内 W100cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	11	少年小障害 C part1	H80cm 以内 W100cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	12	ステップアップジャンピング	H60cm 以内 W90cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1

区分	競技種目		実施要項
馬場 馬術 競技	1	L1 課目	JEF L1 課目 2013
	2	少年 L1 課目	JEF L1 課目 2013
	3	M1 課目	JEF M1 課目 2013
	4	S1 課目	JEF S1 課目 2013
	5	インターメディエイト I	FEI インターメディエイト I 2009
	6	A4 課目 part1	JEF A4 課目 2013
	7	A2 課目 part1	JEF A2 課目 2013
	8	少年 A2 課目 part1	JEF A2 課目 2013

第3日 9月20日(日)

区分	競技種目		実施要項
障害馬術競技	13	標準小障害 A	H100cm 以内 W120cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	14	少年小障害 A	H100cm 以内 W120cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	15	標準中障害 D	H110cm 以内 W130cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	16	少年中障害 D	H110cm 以内 W130cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	17	標準中障害 C	H120cm 以内 W140cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-2
	18	標準中障害 B	H130cm 以内 W150cm 以内 10～13 障害 FEI 基準 A238 条 2-2
	19	標準小障害 B part2	H90cm 以内 W110cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	20	少年小障害 B part2	H90cm 以内 W110cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	21	標準小障害 C part2	H80cm 以内 W100cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1
	22	少年小障害 C part2	H80cm 以内 W100cm 以内 8～10 障害 FEI 基準 A238 条 2-1

区分	競技種目		実施要項
馬場馬術競技	9	A2 課目 part2	JEF A2 課目 2013
	10	少年 A2 課目 part2	JEF A2 課目 2013
	11	ステップアップ A2 課目	JEF A2 課目 2013 参加条件参照
	12	A3 課目	JEF A3 課目 2013
	13	A5 課目	JEF A5 課目 2013
	14	L2 課目	JEF L2 課目 2013
	15	少年 L2 課目	JEF L2 課目 2013
	16	L2 課目 ノーザンカップ	JEF L2 課目 2013 参加資格参照
	17	M2 課目	JEF M2 課目 2013
	18	S2 課目	JEF S2 課目 2013
	19	ワンスター課目	FEI 総合馬術競技ワンスター 2018 馬場馬術課目
	20	セントジョージ賞典	FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目 2009

7 参加資格

- (1) 参加選手は、申し込み時に北海道乗馬連盟の会員であること。
- (2) 中障害以上の障害飛越競技及び L1 課目以上の馬場馬術競技に参加する選手は、JEF 騎乗者資格 B 級または全日本学生馬術連盟 SA 級（またはそれらと同等）以上の騎乗者資格を取得していることが望ましい。
- (3) 小障害以下の障害飛越競技及び A4 課目以下の馬場馬術競技に参加する選手であっても、JEF 騎乗者資格 C 級以上を取得していることが望ましい。

本連盟は資格を有しない選手に対し、競技中の危険防止のためにも早急に取得することを推奨する。

中学生以下の選手は、保護者の承諾書を必要とする。

- (4) 参加馬は申し込み時において(社)日本馬術連盟もしくは北海道乗馬連盟の登録馬であること。
- (5) 障害馬術競技第7競技ダーレージャパンジャンピングの出場馬は過去においてJRAまたは地方競馬の競走馬であった履歴を有すること。また、馬場馬術競技第16競技ノーザンカップの出場馬は、過去においてJRAまたは地方競馬の競走馬であった履歴を有し、登録抹消後6年以内あるいは未出走馬の場合8歳未満であること。
 - A. 障害馬術競技第7競技ダーレージャパンジャンピング 総額賞金12万5千円
 - B. 馬場馬術競技第16競技ノーザンカップ 総額賞金12万5千円

8 参加条件

- (1) 競技中の人馬の事故に対して、主催者は応急処置をするが、事故の責任は一切負わない。
- (2) 参加選手は、必ず傷害保険に加入し、未成年者は保護者の同意を得ていること。
- (3) 同一馬の出場回数は、1日あたり原則5回までとする。
- (4) 同一種目への出場は、1選手3頭までとする。
- (5) 少年が一般種目に出場することはできるが、同種競技少年種目に同一人馬で出場することはできない。 少年：高校生年齢以下の選手。 一般：少年以外の選手。
- (6) 馬場馬術競技A2課目とL1課目は、重複して出場することができる。
- (7) 馬場馬術ステップアップA2課目において以下4点の道具の使用を許可する。長鞭(120cm以内)、ティーディマン手綱、バランシングレーン、騎乗者のボディプロテクター、これ以外の道具の使用を希望する人馬は、競技開始前までに馬場審判長まで申し出ること。
- (8) 小障害A,B,C, 中障害Dクラスでは、同一馬での出場回数に制限を設けない。
但し、副賞として賞金がある場合、最初に出場した人馬の成績のみを考慮する。
- (9) 中障害B,Cクラスで、同一馬が複数回は出場する場合、2回目以降の人馬をオープン参加とする。

9 審判規程

国際馬術連盟審判規程及び日本馬術連盟競技会規程を準用する。

10 参加料および参加申込について

(1) 参加料

一般選手	5,500 円
少年選手	4,500 円
小障害飛越競技 B・C	3,000 円
馬場馬術 A2 課目	3,000 円
参加乗馬登録料	5,000 円/1頭
仮厩舎使用料	3,000 円/1頭

- (3) 落馬発生時は主催者側の指示に従ってください。
- (4) 競技者及び関係騎乗者は、競技場、待機馬場及び練習場へ乗馬で入場する際は、防護帽を着用することとし、着用していない騎乗者は入場を認めません。また、危険防止のため、防護帽は脱落しないよう恒久的に取り外しが出来ない顎紐がシェル部に3点以上で固定されたものを確実に装着されなければなりません。
- (5) 徒歩での表彰式は行いません。表彰状等を審判棟1Fの団体別封筒などに準備します。入賞された人馬へお渡しください。表彰数はその競技の参加者（棄権人馬は除く）の4分の1とし、最大8名までとします。また、馬場馬術競技においては、得点率が45%以上でなければ入賞の対象としません。
- (6) 馬輸送費の一部を補助します。
- (7) 馬糧は支給しませんが、敷き料は支給します。
- (8) 主催者は選手の宿泊施設を斡旋しませんので、各自で用意して下さい。この度は選手の研修棟の宿泊使用できません。
- (9) ホースマネージャー（各団体1名）については、宿泊所の確保をノーザンホースパークへ依頼しますので、希望する団体は別紙（研修棟宿泊予約）により直接申し込んで下さい。
- (10) 競技中に撮影された写真は、HP・各メディア等で用いられることがありますので、ご了承ください。

1.2 参加馬の入厩条件及び馬場馬術競技場の馴致

- (1) 入厩期間は、9月18日（金）から9月20日（日）までとします。なお、厩舎割り当ては、当日会場に掲示しますのでご覧下さい。
- (2) 入厩届けは、参加申込書類に添付して大会事務局に提出して下さい。
- (3) 参加馬は、家畜伝染病予防法に基づく検査及びインフルエンザ予防接種・流脳予防接種をノーザンホースパークからの通達に基づき、予防接種等を受けた証明書と健康手帳を必ず携行して下さい。
- (4) 入厩に際しては、馬運車到着後直ちに予防接種等証明書と健康手帳をノーザンホースパーク・インドア事務所に提出し、入厩の了承を得てから入厩して下さい。
- (5) 馬場馬術競技場は、大会第1日の13時から16時30分まで自由に使用することが出来ます。（ただし、馬場馬術競技出場馬のみ）
- (6) 9月18日（金）から9月20日（日）の競技終了までの大会期間中に競技以外での障害のメインアリーナの使用はできません。（ノーザンホースパーク、ノーザンファームは除く）

1.3 乗馬振興奨励金について

競技会終了後に各団体に振込みます。

1 4 注意事項

- (1) ノーザンホースパークに入園の際には、入口で必ず通行証を提示して下さい。通行証を所持していないときは、所定の入園料を支払って下さい。このことは、競技に関わる全ての人に該当しますので、各団体の会員の皆様に周知徹底して下さい。
- (2) 競技会関係者の方々は、ノーザンホースパークに来園している観光客に対し、親切丁寧に対応していただきますようお願いいたします。